

キャリアアップガイド【林学職】

職種	林学
職務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・森林計画、林業・木材産業の振興対策、木材利用の推進・森林整備の支援 ・林業技術の普及・指導、森林・林業に関する試験研究 ・治山・林道・森林整備工事の設計、検査、現場管理等 ・あいち森と緑づくり ・林地保全（保安林の指定、解除、林地開発許可） ・県有林の管理、運営 ・緑化の推進
主な配属先	<ul style="list-style-type: none"> ・農林基盤局本庁 ・農林水産事務所、森林・林業技術センター、県有林事務所、あいち海上の森センター
めざす 職員像	林学職として、高い専門知識・技術力と高度な企画・調整能力を持ち、総合的な視点から判断し行動することができる職員

<育成の考え方>

- ・ 実務経験を通じて、林学職として不可欠な専門知識とともに緊急時の判断力・対応力などの向上を図るため、職員の適性に留意しながら、本庁と地方機関を経験するローテーションによる人事配置を行い、高い専門性と企画・調整・指導力を備えた技術者の育成を図る。
- ・ 林業生産性の向上のための技術の修得、治山・林道工事の施工・設計監理等に関する技術力の向上、森林法始め関係法令の基礎的な知識の習得を図るため、業務研修の受講機会を確保する。
- ・ 普及・指導業務に不可欠な林業普及指導員資格の取得を奨励する。

<主な職務内容別の方針>

[森林計画、林業・木材産業の振興対策、木材利用の推進、林業技術の普及・指導など]

- ・ 本庁と山間地域・都市部の地方機関を経験させ、実務経験を通じて、林業の専門能力・技術力とともに、地域の課題に適切に対応できる企画・調整・指導能力を兼ね備えた職員の育成を図る。

[研究]

- ・ 可能な限り、森林・林業技術センターで長期に研究に従事させることにより、高い専門性と高度な技術を持った研究員の育成を図る。
- ・ 技術の普及指導や行政が直面する課題に対する今後の試験テーマを設定するため、職員の適性に留意しながら、農林水産事務所を経験させる人事配置を行う。

[治山・林道・森林整備、緑化の推進]

- ・ 地方機関において現場を経験させて設計・検査・現場管理等の専門能力・技術力を身に付けさせるとともに、本庁を経験させて企画・調整・指導力を身に付けさせ、総合的な視点から判断し行動することができる職員の育成を図る。

[あいち森と緑づくり]

- ・ 本庁と地方機関を経験させ、他局との調整能力や県民への情報発信能力に優れた職員の育成を図るとともに、市町村担当者や森林所有者との交渉能力を高める職員の育成を図る。

《キャリアイメージ》

区分	林 学			受講すべき研修等
	異動・配属の考え方	必要とされる知識・能力	取得が望ましい資格等	
新規採用 技師・主任 (採用後8年間) 主任級 (9年目以降) 主査級 課長補佐級 課長補佐 (グループ班長) 備考 (その他関連措置)	<p>基礎的な技術・知識の習得や適切な指導を受けることに適した所属に配属する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【本庁】 林務課、森林保全課</p> <p>【地方機関】 農林水産事務所、森林・林業技術センター、県有林事務所、あいち海上の森センター</p> </div>	<p>【採用3年目まで】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林務職員としての基礎固め ・林業関係法令の基礎知識 ・治山・林道・森林整備工事の設計、施工等に関する法令、基準等の基礎知識 		<p>【農林水産部門研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新任農林水産部門職員研修
	<p>幅広い視野や基礎的な技術・知識を習得するとともに適性を見出すため、下記の内容を経験できるよう計画的に異動を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 2ヶ所の所属を経験する。 ② 可能な限り、本庁と地方機関を経験する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【本 庁】 ・農林基盤局本庁各課</p> <p>↔</p> <p>【地方機関】 ・森林・林業技術センター、県有林事務所 ・農林水産事務所、あいち海上の森センター</p> </div>	<p>【採用8年目まで】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治山・林道・森林整備工事の設計、施工等に関する法令、基準等の専門知識、指導・監督能力、設計・積算能力 ・安全作業技術、間伐技術など普及指導に必要な専門知識・技術 	<p>【採用8年目頃まで】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業普及指導員 	<ul style="list-style-type: none"> ・測量等基礎研修 ・治山初級業務研修 ・林道初級業務研修 ・林地保全業務研修 ・現場監督研修 ・造林・間伐事業業務研修 ・森林病害虫防除業務研修
	<p>職務分野の偏りが無いように幅広い職務経験を積み重ね、適性を見出すとともに、実務の中心的役割を担う職員を目指す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>森林計画、林業・木材産業の振興対策、木材利用の推進</p> <p>↔</p> <p>林業技術の普及指導、試験研究</p> <p>↔</p> <p>治山・林道、森林整備、緑化推進</p> <p>↔</p> <p>あいち森と緑づくり</p> <p>↔</p> <p>林地保全</p> </div>	<p>【採用9年目以降主査級昇任まで】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い職務経験 ・実務の中心的役割を担うために必要な知識・能力 		<ul style="list-style-type: none"> ・森林計画業務研修 ・林道中級業務研修 ・治山中級業務研修 ・新任林業普及指導員研修
	<p>課題を設定し自ら取り組むことにより、林学職としての能力・資質に磨きをかけ、後輩の指導・育成とともに、実務の中心的役割を担う職員をめざす。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○本庁と山間地域・都市部の地方機関を経験</p> <p>○実務経験を通じ林業の専門能力・技術力を修得</p> <p>○地域の課題に適切に対応できる企画・調整・指導能力を修得</p> <p>○可能な限り森林・林業技術センターで長期に研究に従事</p> <p>○高い専門性と高度な技術を修得</p> <p>○職員の適性に留意しながら、農林水産事務所を経験</p> <p>○地方機関において現場を経験</p> <p>○設計・検査・現場管理等の専門能力・技術力を修得</p> <p>○本庁を経験し企画・調整・指導力を修得</p> <p>○本庁と地方機関を経験</p> <p>○他局との調整能力や県民への情報発信能力を修得</p> <p>○市町村担当者や森林所有者との交渉能力を修得</p> <p>○本庁と地方機関を経験</p> <p>○県民、関係機関、業者等に対する説明、折衝、調整力</p> <p>○許認可申請者に対する適切な指導力</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・県民、関係機関、業者等に対する説明、折衝、調整力 ・許認可申請者に対する適切な指導力 		<p>【林政研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主査級研修 <p>【業務研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査員研修
	<p>林学職として、高い専門知識・技術力と高度な企画・調整能力を持ち、総合的な視点から判断し行動することができる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県民、関係機関、業者等に対する説明、折衝、調整力 ・森林、林業に関する技術面での専門知識 		<p>【林政研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課長補佐級研修
	<p>グループ班長として、専門分野のリーダーとしての役割を担って業務推進とともに、人材育成など組織マネジメントを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生等緊急時における対応力 ・「食と緑の基本計画」等の県が策定する計画における企画力 		